

令和6年度第4回岐阜市市政モニター  
「ぎふCITYウォッチャーズ」  
調査結果

テーマ

- ・ぎふベジ・ぎふ〜どに関する意識調査

## 目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

### お問い合わせ先

経済部 農林課

TEL : 058-214-2079 / MAIL : nourin@city.gifu.gifu.jp

## 1 調査目的

- ① 安全・安心にこだわって生産された「ぎふベジ」や、地産地消推進の店「ぎふ〜ど」に対する意見などの調査を実施。
- ② ①の結果を今後の岐阜市における「ぎふベジ・ぎふ〜ど推進事業」の取り組みの参考とする

## 2 調査期間

令和6年11月6日(水)～11月20日(水)

## 3 調査項目

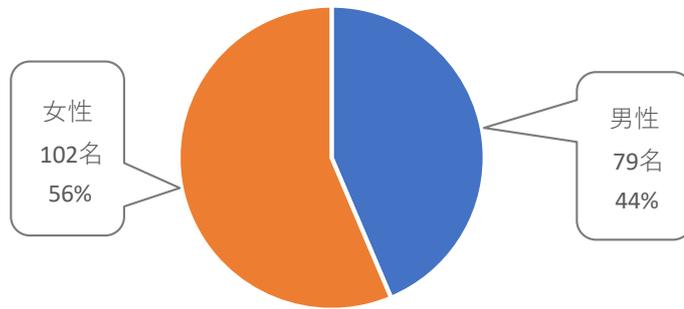
- ・ぎふベジ・ぎふ〜どに関する意識調査（質問1～質問14）

## 4 回答者属性

令和6年度市政モニター第4回回答者 性別別割合

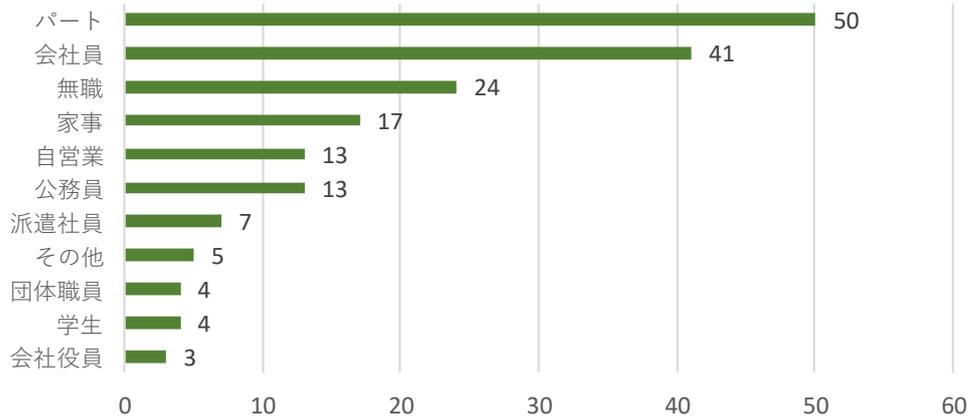
<回答者総数> 181人

■ 男性 ■ 女性



令和6年度市政モニター第4回回答者 職業別割合

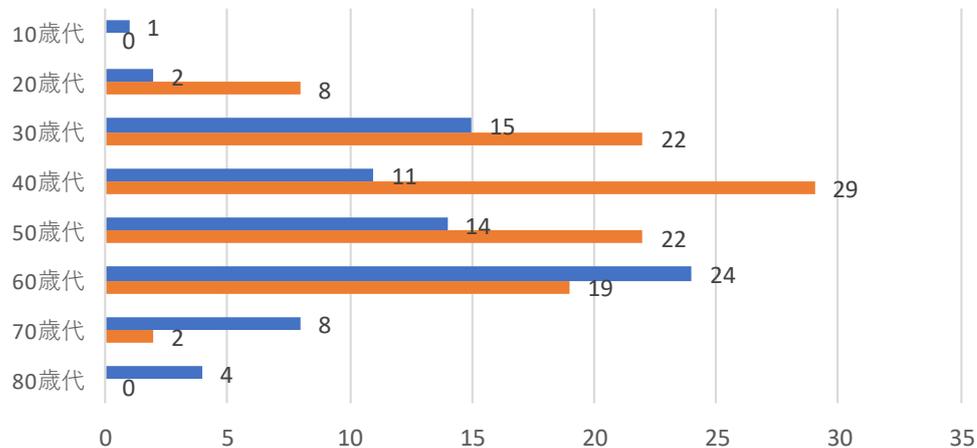
<回答者総数> 181人



令和6年度市政モニター第4回回答者 年代別割合

<回答者総数> 181人

■ 男性 ■ 女性



## 5 結果の概要

### ・ぎふベジ・ぎふ〜どに関する意識調査（質問1～質問14）

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

アンケート結果によると、質問2及び9-2から、本市における「いちご」「えだまめ」「柿」は、特産農産物としての認知度が高く、また、地産外商イベントで市外に売り込むと良いと思う特産農産物として、多くの方に認識されていることがわかりました。

質問12から、農産物を購入する際に重視していることとしては、「鮮度」と「価格」がそれぞれ77%、「国産」が67%と、国内で採れた新鮮な農産物が安価に購入できることが求められていることがわかりました。

質問4から、「ぎふベジ」の認知度については41%と、昨年度の35%から6ポイント上昇しました。一方、質問5から、ぎふベジの市町連携については、認知度は22%と、昨年度の26%から4ポイント減少しました。

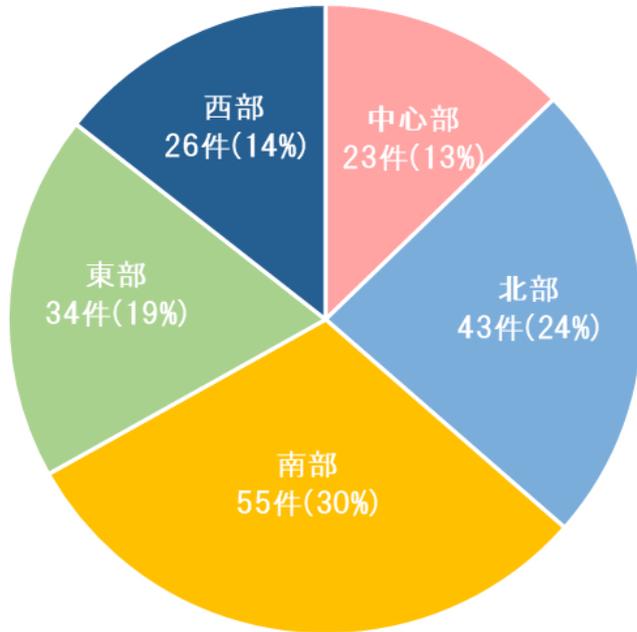
質問9から、市外で「ぎふベジ」を周知する際のイベント開催地として良いと思う場所は、「中部圏」が64%と最も高く、近隣から周知していくことが効果的であると考える方が多いことがわかりました。

質問7から、ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」の取り組みの認知度については、23%と、昨年度の20%から3ポイント上昇しました。

## 6 項目別の結果

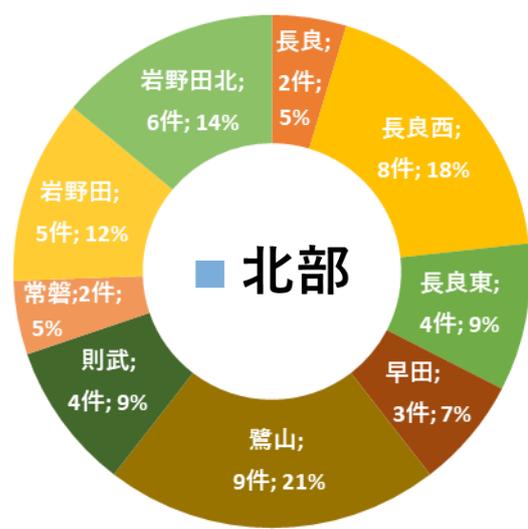
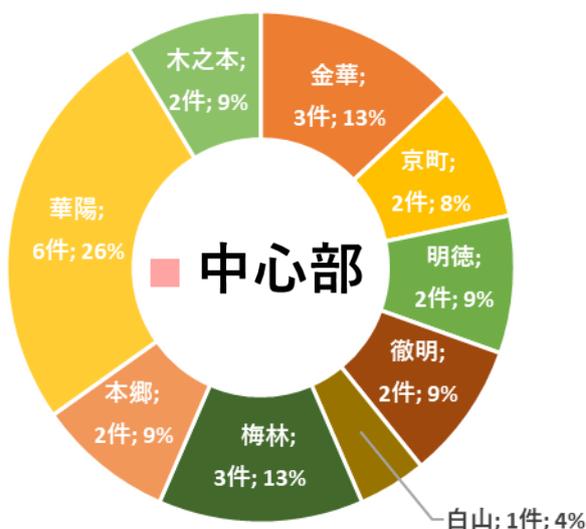
・ぎふベジ・ぎふ〜どに関する意識調査（質問1～質問14）

質問1. あなたのお住まいのエリア（実際に生活されているエリア）はどちらですか。



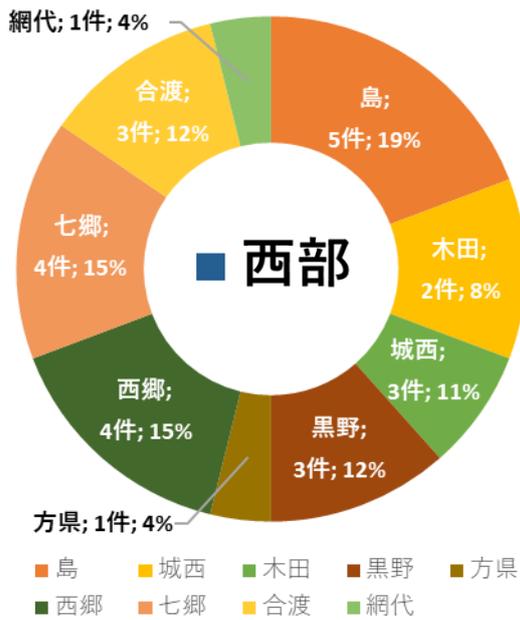
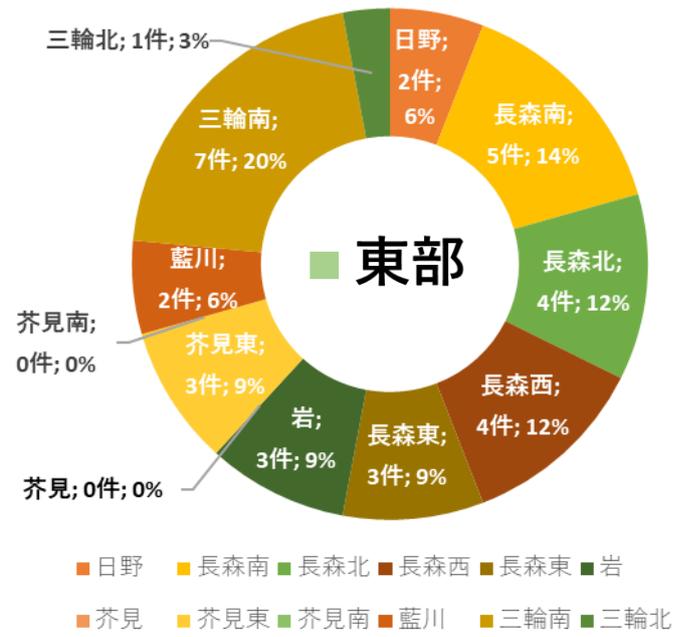
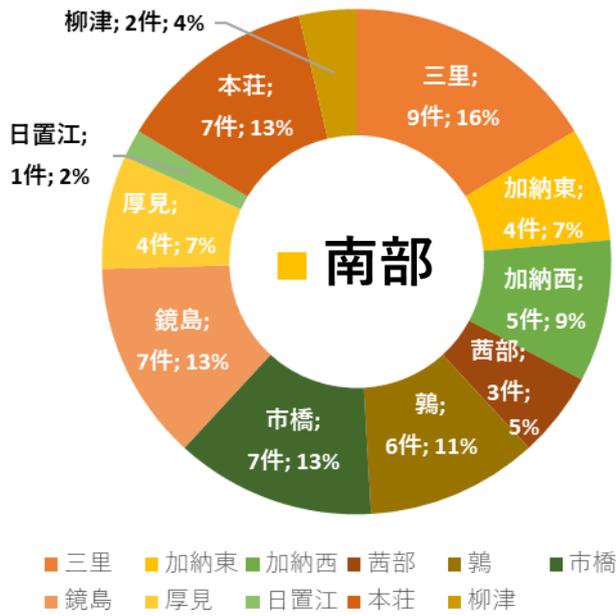
- 中心部（金華、京町、明德、徹明、白山、梅林、本郷、華陽、木之本）
- 北部（長良、長良西、長良東、早田、鷺山、則武、常磐、岩野田、岩野田北）
- 南部（三里、加納東、加納西、茜部、鶉、市橋、鏡島、厚見、日置江、本荘、柳津）
- 東部（日野、長森南、長森北、長森西、長森東、岩、芥見、芥見東、芥見南、藍川、三輪南、三輪北）
- 西部（島、城西、木田、黒野、方県、西郷、七郷、合渡、網代）

質問1-1. あなたのお住まいの地区（実際に生活されている地区）はどちらですか。

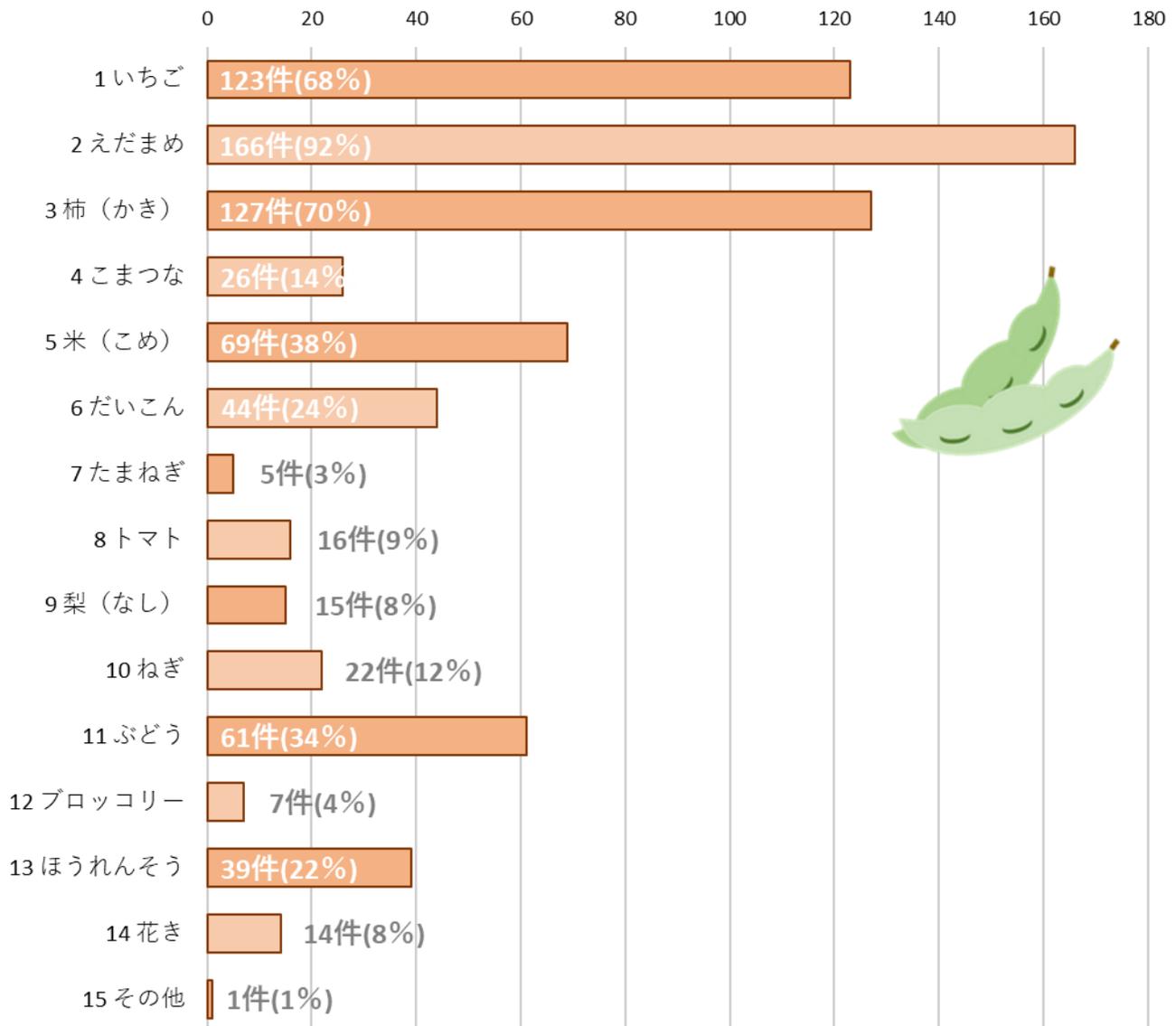


- 金華
- 京町
- 明德
- 徹明
- 白山
- 梅林
- 本郷
- 華陽
- 木之本

- 長良
- 長良西
- 長良東
- 早田
- 鷺山
- 則武
- 常磐
- 岩野田
- 岩野田北



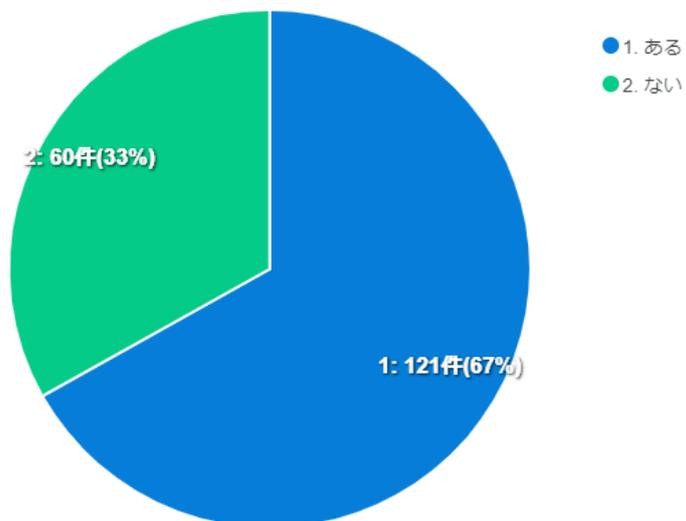
質問2. あなたの知っている岐阜市の特産農産物は何ですか。(複数回答可)



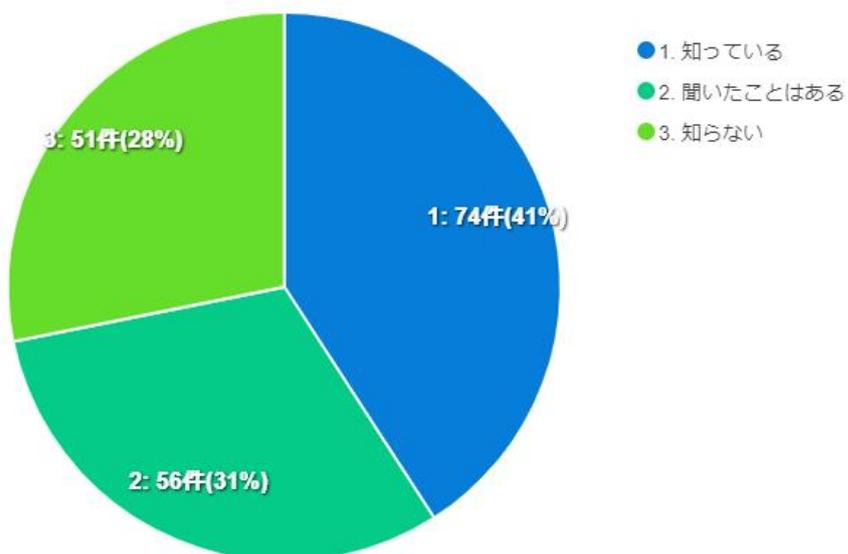
■その他<一部抜粋>

- ・バナナ

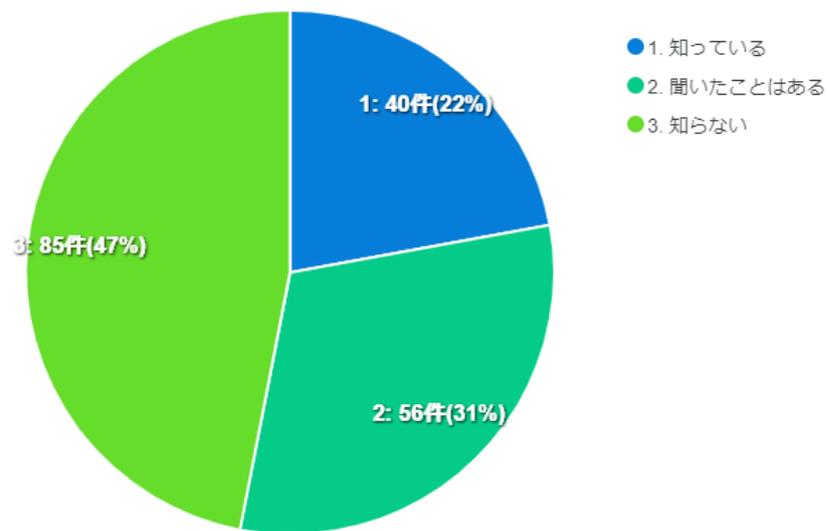
質問3. 下のマークを見たことがありますか。



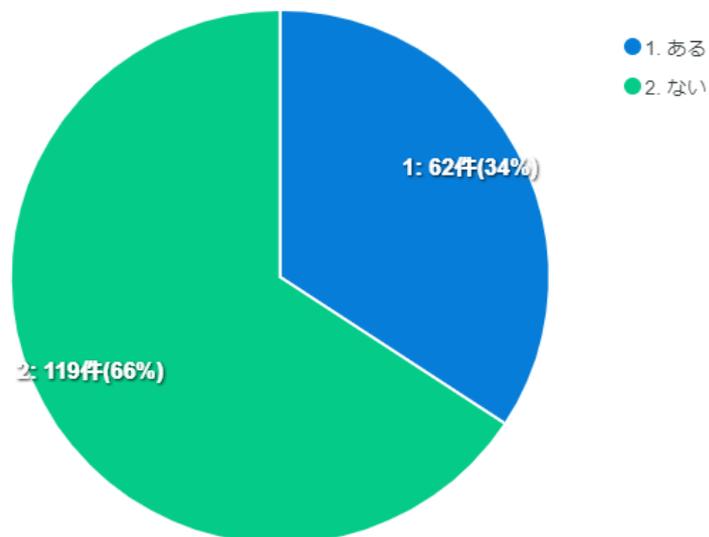
質問4. 本市で特産農産物を愛称「ぎふベジ」としてブランド化を進めていることを知っていますか。



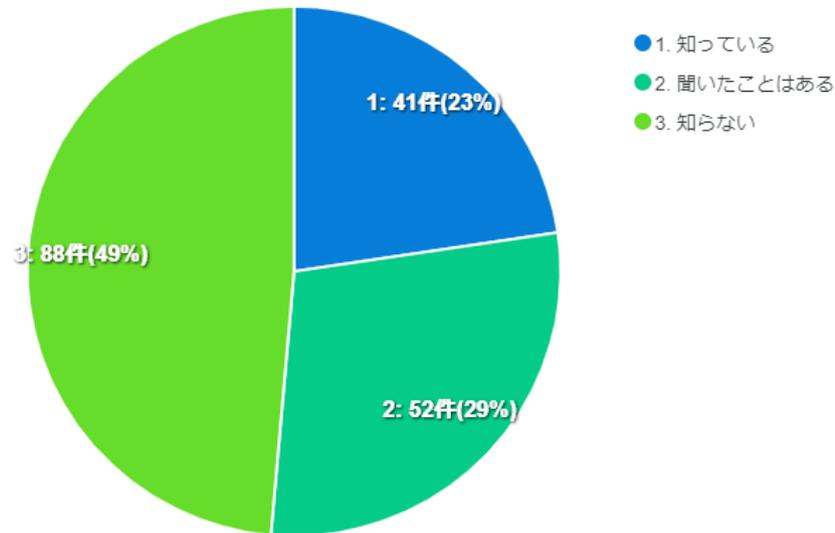
質問5. 岐阜市近郊の5市3町（岐阜市・羽島市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）が連携して域内の特産農産物を「ぎふベジ」としてブランド化を進めていることを知っていましたか。



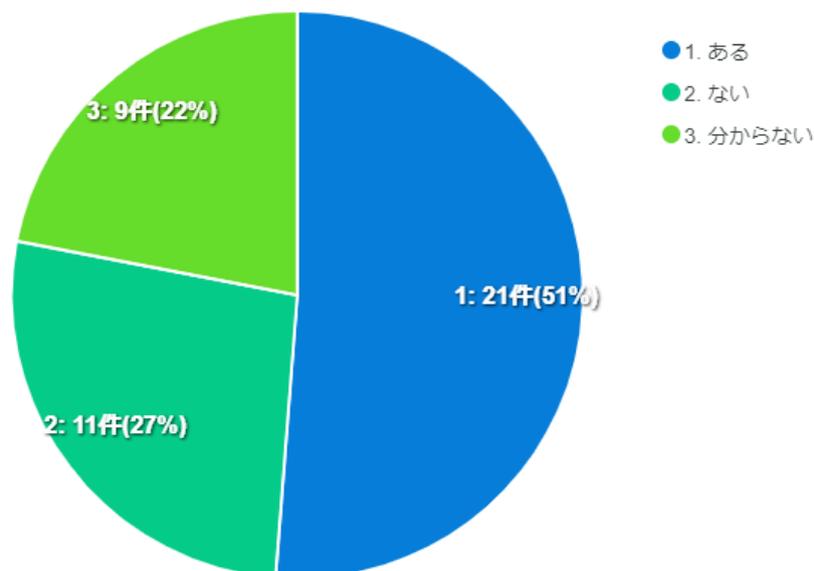
質問6. 下のマークを見たことがありますか。



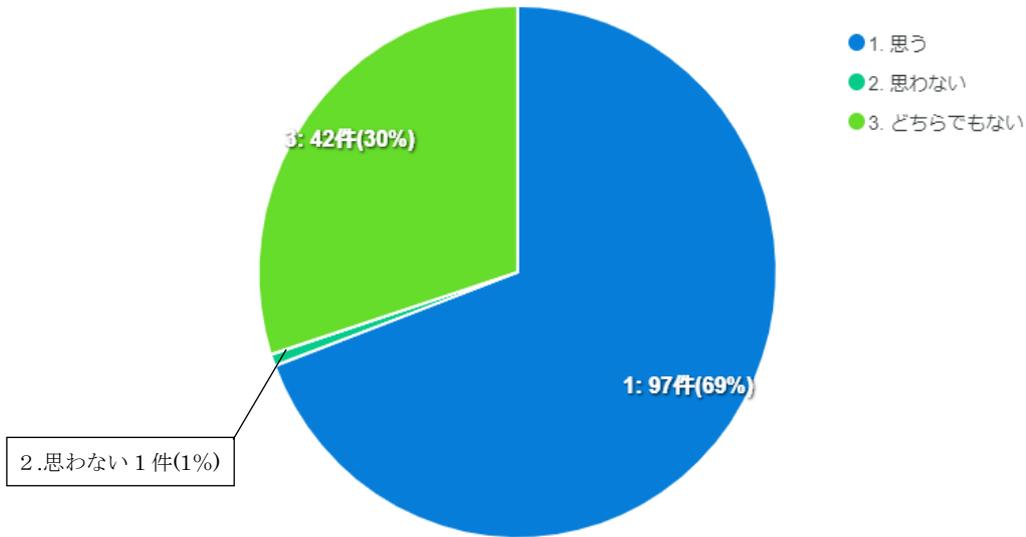
質問7. 本市では、近郊の5市3町（岐阜市・羽島市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）が連携して、地元で生産された農産物などを積極的に取り扱う飲食店や販売店、食品加工所などをぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」として認定しています。そのことを知っていますか。



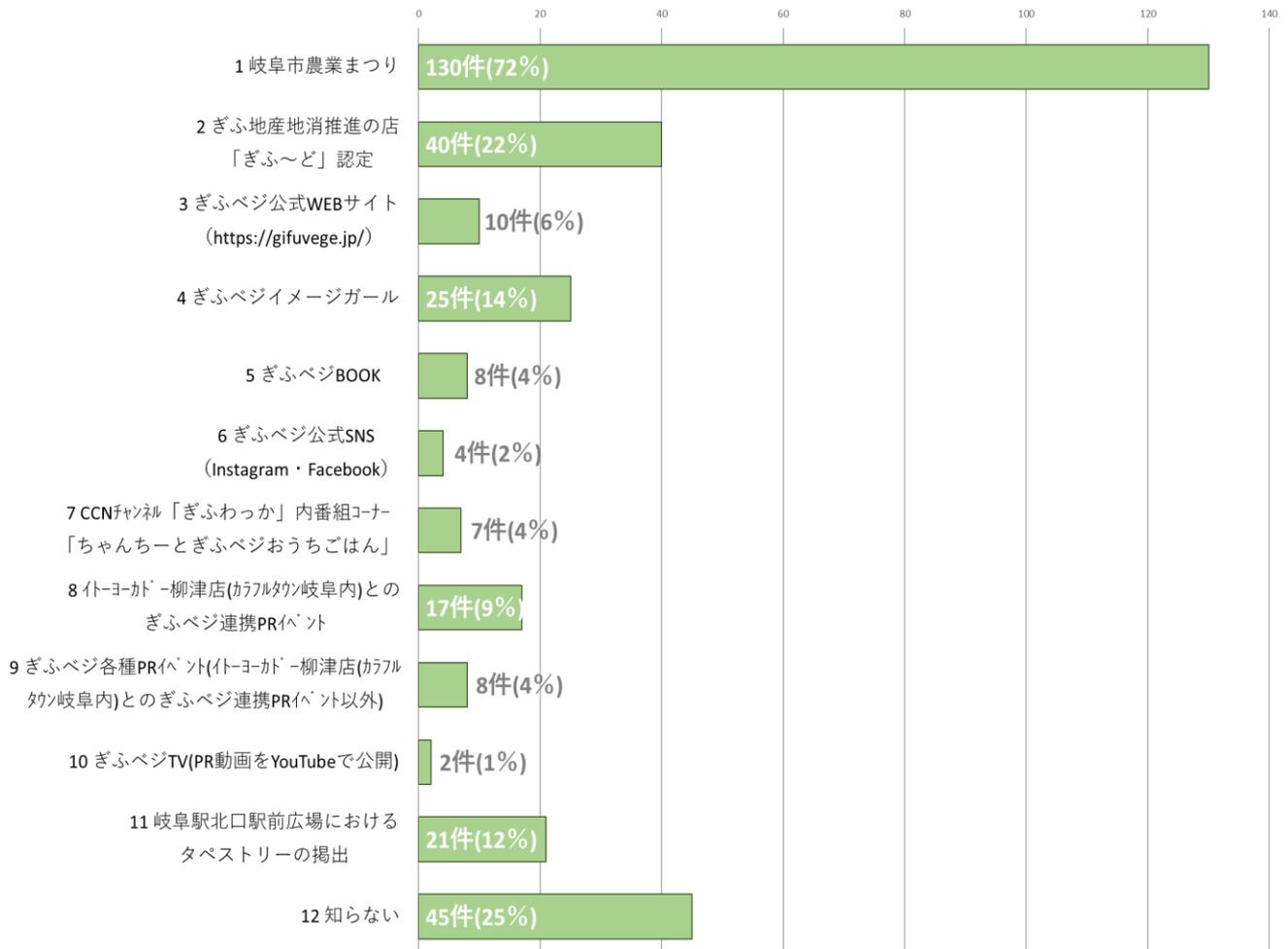
質問7-1. 質問7で「知っている」と回答した方にお聞きします。ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」を利用したことはありますか。



質問7-2. 質問7で「聞いたことはある」もしくは「知らない」と回答した方にお聞きします。ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」を利用したいと思いませんか。

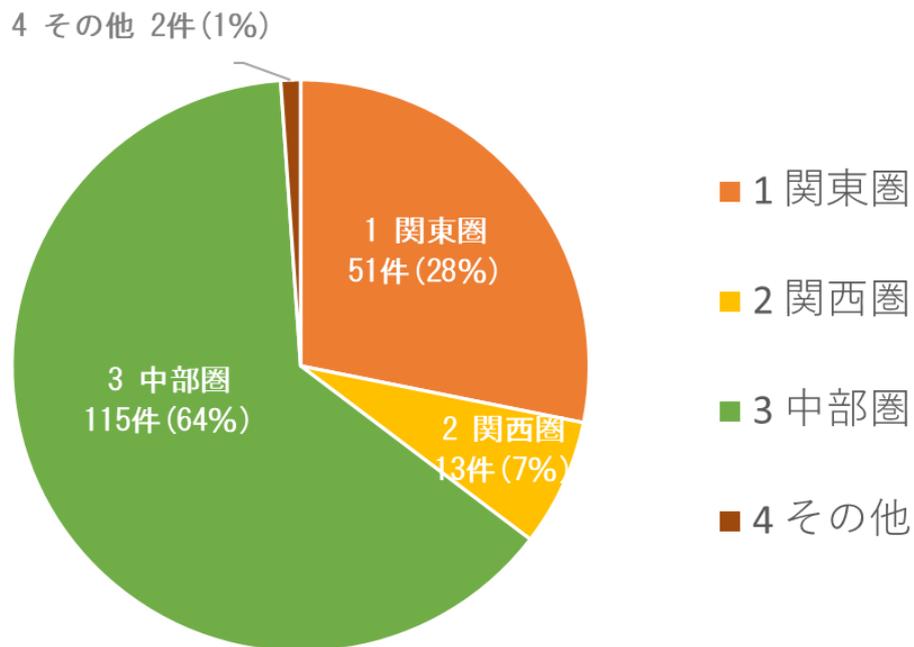


質問8. 本市が進めている地産地消または「ぎふベジ」のブランド化で知っている取り組みはありますか。



質問9. 本市では、市外にも広く「ぎふペジ」を周知するため、地産外商(※)イベントを開催しています。地産外商イベントの開催地として良いと思う場所はどこですか。

(※) 地産外商とは…市内で生産されたものを市外で流通・販売する取り組み



■その他<一部抜粋>

- ・岐阜県
- ・魅力的な食材であれば、どこの都市で開催しようが周知されると考えます。

## 質問9-1. 質問9で回答した場所について、その理由を教えてください。

<一部抜粋>

### ■ 1 関東圏

- ・地元若者がより多く流出している地域であり、地元商品のPRがあれば感度がよさそう。またこれにより地元を評価してUターンのきっかけにもなりそう。またインバウンドの外国人へのアピールにもなり、地元観光への誘引も期待できる。
- ・都心部が一番人が多いのとメディアに取り上げられる可能性が高いから。
- ・農産物については、都会がターゲットだと思う。また、東京周辺には岐阜の出身者が多くいるであろうから、ふるさとの特産物を手にする人からその他の人々へ、ぎふベジの良さが伝わると良いと考える。
- ・関東圏だと地域限定の物という特別感が好まれそう。近郊から認知度をあげるより圧倒的に人口が多い所で口コミやメディアやSNSで取り上げて貰えたほうが同じイベントでも効果がありそうだったから。
- ・人口の多さと収入が高いエリアでのイベントの方が収益が大きいと思うため。
- ・運搬に経費がかかっても 人口も多く物価も高いので商談をするのによいのではないかと思います。
- ・自分自身が関東から移住してきたものの、岐阜県の情報発信自体を見る機会が少なかったことから、魅力を発信する伸び代がありそうと思ったため。
- ・折角岐阜には美味しい野菜がたくさんあるので、認知を上げさえすればもっと人気が出るのではないかと思います！

### ■ 2 関西圏

- ・関西圏ならば近いので、関西の人がチョット遠出の買い物に来てくれそう。
- ・岐阜市への交通網があり（道路、鉄道）、関西方面からアクセスしやすく、来訪が期待できるから。また、えだまめは関西圏に多く出荷されていて、認知度があるから。
- ・東京より大阪のほうが盛り上がりそうな感じ。
- ・関西圏であれば岐阜の名前が知られているので。（関東の人には岐阜が知られていない）
- ・出身地が大阪ですが、岐阜の認知度はまだまだ少ない。比較的岐阜に近く、大消費地の関西圏にアピールしてください。
- ・くいだおれの大阪にブランド野菜が受け入れられると思う。
- ・やはり、万博があるので、多くの人が集まってくる大阪から情報発信して全国に広める。
- ・実家が関西圏なので家族に紹介出来る。又、私が実家に帰った時に購入出来る。地元のスーパー（関西スーパー）では、四国などの野菜が置いてあったりするので、そういうのはいいなと前から思っていた。
- ・関西地区は岐阜からもそう遠くはないし、高山など関西圏から身近な観光地である印象なので、関西で関心をもたれやすいと考えます。
- ・中部圏は農業で競合する部分があるため、ある程度離れた都市圏で開催したほうがよいと思います。流通販売を考慮するなら関東より近い関西圏がよいと思います。
- ・関西圏は人口も多く、地産の利用が多いと思う。

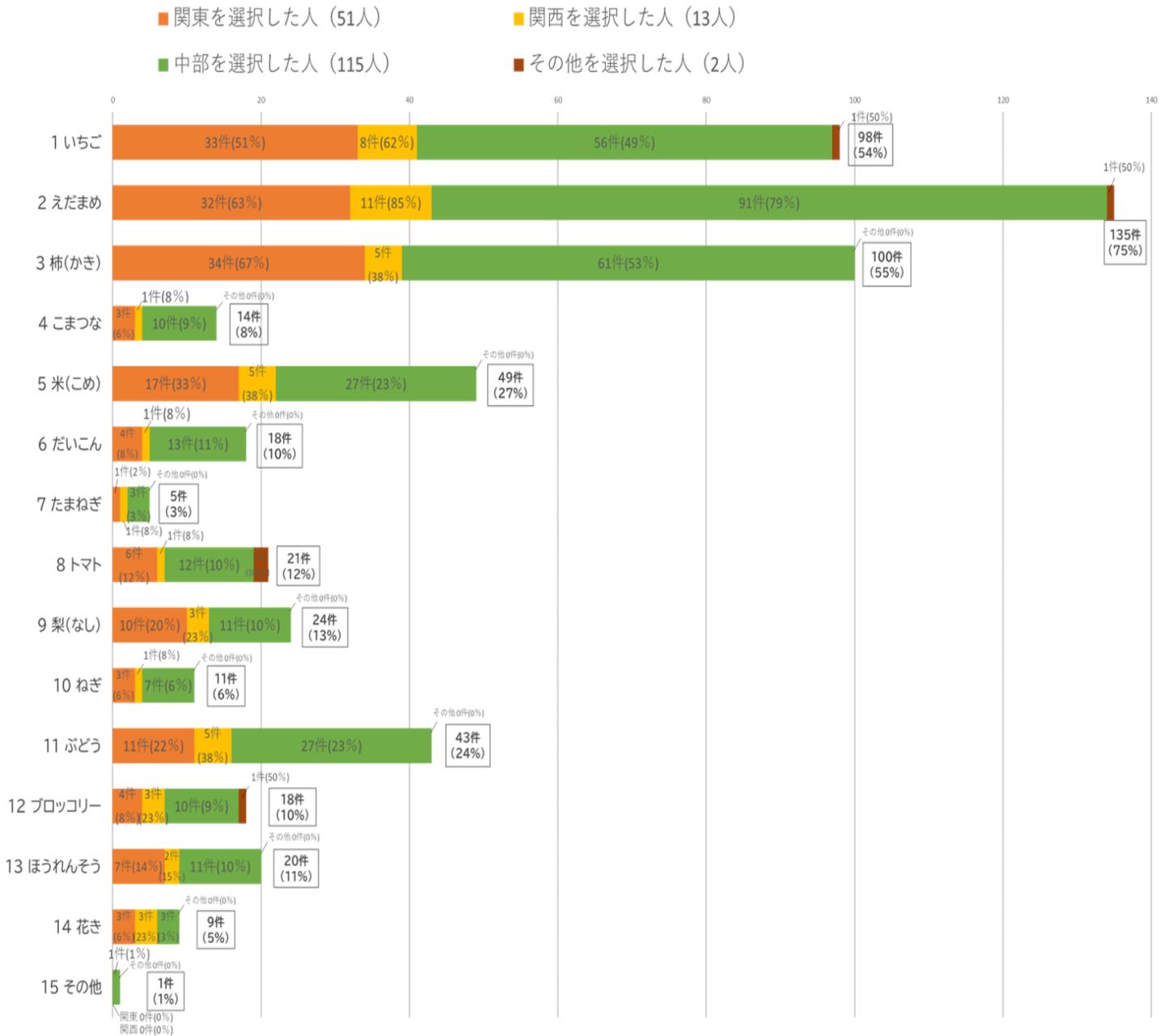
### ■ 3 中部圏

- ・ 近隣の県だと地元感を感じてもらえて手に取ってもらえるのではないかなと思います。
- ・ 交通の便がよく利用しやすいから。
- ・ まずは産地近郊での周知や定着が必要であると考えため。関東圏や関西圏は飽和状態だと考えられる、ある程度の知名度やブランド化が出来てからでないとな勝負は難しいと思う。"
- ・ 名古屋市。都内展開は費用的にも、岐阜の知名度的にも難しいのではないかな？
- ・ 岐阜市近隣の消費地を優先すべきと考える為。
- ・ まだまだ認知度が低いと思うので近隣で行う方が良い。
- ・ 気軽に来てもらえそう。名古屋や一宮辺りだと、主婦でもランチに来てもらえるのではないのでしょうか。
- ・ 岐阜の知名度が高く、地産地消に繋がりがやすいから。
- ・ 岐阜の農産物は、他県で競合できる特色がやや弱いと思うので、まずは、岐阜県に親しみのある愛知県民をターゲットにした方が良いと思う。バナナは関東でも通用すると思うが、高価格帯なので、ブランド名から味が推測できるなど工夫をした方が良い。
- ・ 中部圏なら岐阜に遊びにきた時に食べてみようとか、飲食店で、岐阜の特産物や岐阜産の野菜や果物は、食べられたら嬉しいと思うので、岐阜に来やすい中部圏が良いのではないのでしょうか。
- ・ まずは近場の地域への周知が必要かなと思います。輸送時間も短いため、新鮮な農産物を購入していただき、評判がよければ更なる販路につながるのではと考えます。

### ■ 4 その他

- ・ 商品を周知拡大する際の戦略で、今がどの位置づけにいるかを分析することが重要である。まだまだ岐阜市、岐阜県での認知度が浸透しきれていないのであれば、まずは岐阜県内だけでも認知度〇〇%といった目標を掲げその達成に力を注ぎ、合わせて少量のリソースを徐々に周辺地域に周知の幅を広げていくような形が良いと考えます。
- ・ 特別に場所を設定するよりは、岐阜駅や羽島駅でイベントすれば良いと思います。口コミやSNSの方が、圧倒的に周知されると考えます。SNSで知名度が上がった段階で、イベントを開催された方が集客が増えると思います。

質問9-2. 質問9で回答した場所で売り込むと良いと思う岐阜市の特産農産物は何ですか。(複数回答可)



■その他<一部抜粋>

- ・他県であまり生産されていないもの。

**質問9-3. 質問9-2で回答した特産農産物について、その理由を教えてください。**

〈一部抜粋〉

**【いちご】**

- ・いちご嫌いな人は、あまりいないから、売り上げが見込めそう。
- ・幅広い層の需要が見込める。
- ・果物には付加価値が付き、単価も高くなると考えたから。
- ・普通は買わないような特別値段が高い物などでも需要があるため。
- ・濃姫など、信長を絡めてアピールできそうだから。
- ・濃姫や美濃娘などの品種があり高級ブランド美人姫が贈答用に需要があると思うからです。
- ・濃姫は甘みと酸味のバランスが良く食べやすい。
- ・愛知に負けないおいしさやブランド力があると思うから。
- ・手頃に食べやすいから。
- ・スイーツに加工しやすく、イチゴそのものを売るだけではないプラスαが狙えるから。



**【えだまめ】**

- ・大人のおつまみにも子供のおやつにも良いから。栄養もある。
- ・大粒でおいしい。生産量も多い。
- ・枝豆の加工品がいくつもあるので、販促しやすいと思う。
- ・日持ちして扱いやすそう。
- ・岐阜市といえば枝豆というイメージがとても強いので、積極的に取り組んで良いと思う。
- ・えだまめをブランド化している地域が少ないので、ブランド化の先がけになれそうだから。
- ・他県に負けず美味しい 枝付きの新鮮なものを輸送できる。
- ・お手頃の価格で購入して貰いやすい。
- ・簡単に調理出来て気軽に食べられるから。

**【柿（かき）】**

- ・富有柿は全国的にも有名で、甘くて形も美しい。
- ・単価が高く ブランド化しやすい。
- ・他の都道府県では見かけないから。
- ・富有柿の一大産地であり高級ブランド天下富舞なども贈答用に需要があると思うからです。
- ・富有柿はもちろん干し柿やお菓子も含めて広めたい。
- ・様々な品種があると思うが富有柿の大きさに関東圏の人は驚くと思うので。
- ・岐阜が柿を特産としていることに意外性があるから。



### 【こまつな】

- ・知名度が低い。
- ・昔からの特産品のイメージがある。
- ・採りたての新鮮なものを提供できる。
- ・岐阜でこまつなとは、ピンとこないなので、これから売りにしたらいいと思ったからです。
- ・野菜が高い昨今、安価で届けられるといい。

### 【米（こめ）】

- ・知名度がイマイチなのでもっと積極的に。
- ・おいしいハツシモがあるのでぜひ勧めたい。
- ・各地でとれるけど、長良川のきれいな水で栽培していることは売りになると思う。
- ・太平洋側の地域で米を特産物としている所があまりないと思うから。
- ・需要が高まっているから。

### 【だいこん】

- ・知名度が低い。
- ・昔からの特産品のイメージ。
- ・知名度がある。
- ・採りたての新鮮なものを提供できる。
- ・なんにでも使える必需品。
- ・守口大根であったり祝い大根であったり生産地であることをもっとPR してもよいのでは。

### 【たまねぎ】

- ・知名度が低い。
- ・根菜類は定番かと。
- ・売れるものは売りこむべきだと考える。

### 【トマト】

- ・知名度が低い。
- ・昔からの特産品のイメージ。
- ・栄養価が高くいろんな種類があるから。
- ・万能野菜で栄養豊富。市場が大きい。
- ・他県の物と比べても美味しいと思うから。

### 【梨（なし）】

- ・知名度が低い。
- ・山之上の梨のようにその品質のよさからすでに他県から買いに来るお客さんがいるため。
- ・近隣の県であまり見かけないから。
- ・毎日食べる野菜は値段で選ぶ。特別感のあるフルーツは値段よりも味や産地にこだわる人が多いのでは。新鮮さや味が好みであればリピーターになってくれる。
- ・東海3県で梨の生産で有名なところがないから。

### 【ねぎ】

- ・岐南町の徳田ねぎを知ってもらいたい。
- ・知名度がある。

### 【ぶどう】

- ・雄総のぶどうは、シーズンになると県外ナンバーの車がお店に並んでいるのを見かける。県外にも岐阜の葡萄のあじを知ってもらってもいいのでは。
- ・ぶどう狩りなどレジャーに結びつけてお土産としても買いやすい果物と思う。ケーキやジュースなどデザートにも加工しやすい。
- ・県外の方には認知度が低いと思うから。



### 【ブロッコリー】

- ・知名度が低い。
- ・特産品のイベントでブロッコリーはあまり見かけないため、新鮮に思われ興味を惹かれるのでは。
- ・岐阜らしい。
- ・味おいしい。最近注目を浴びている。高価格化が進んだのでブランド化もできるのでは？
- ・輸入がおおそうなので、国産を売って欲しいから。

### 【ほうれんそう】

- ・知名度が低い。
- ・すぐしなびてしまうので、輸送が大変だと思うが、新鮮なほうれんそうは、どんな料理にしても美味しい。
- ・枝豆同様近くの畑で育ってるのを見るから。
- ・秋冬ほうれんそう産地をアピール。
- ・長良川流域で栽培されていて美しく美味しい。
- ・味の濃いほうれん草をもっとブランド化すべきです。
- ・採りたての新鮮なものを提供できる。

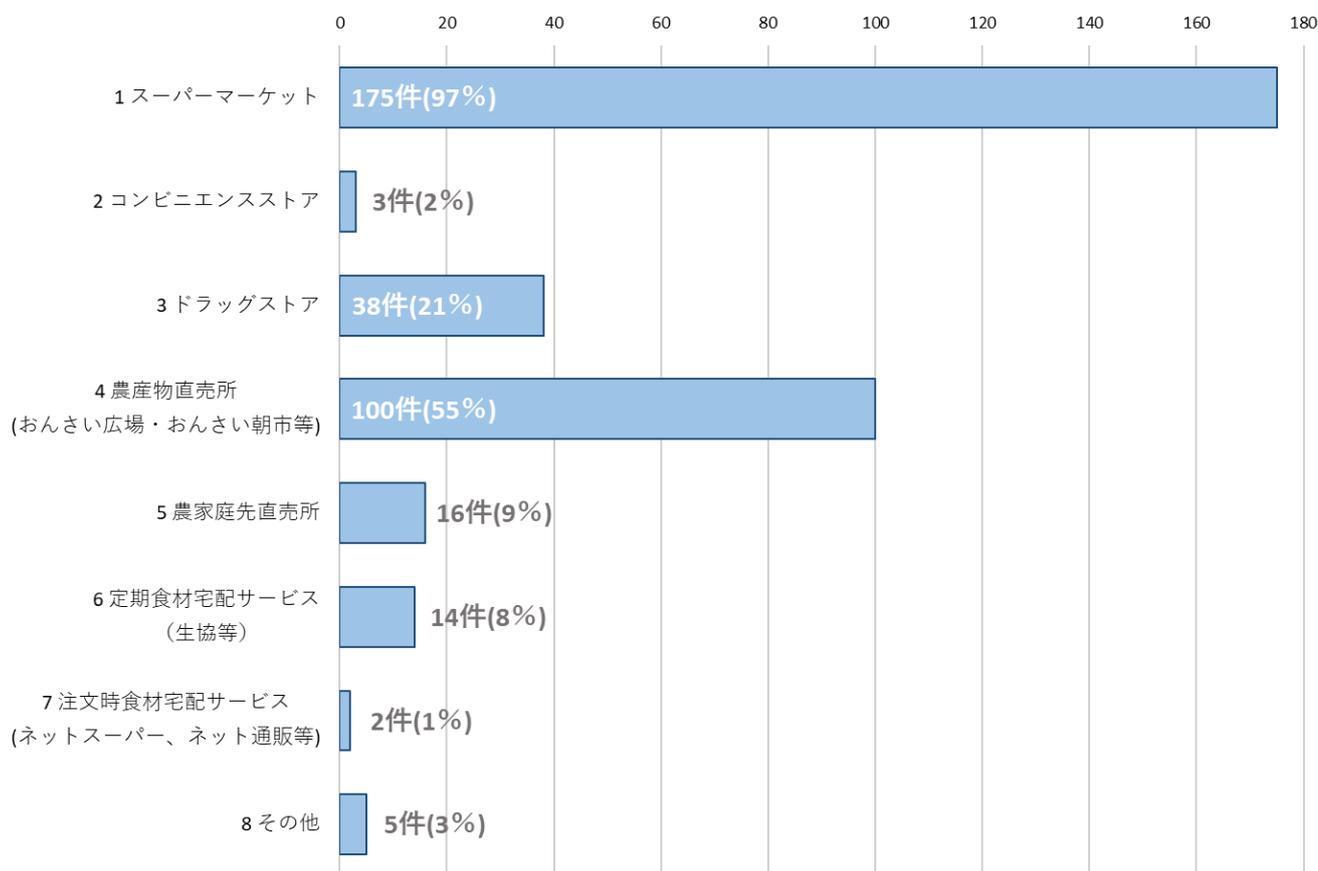
### 【花き】

- ・知名度が低い。
- ・岐阜の自然に囲まれて育った元気な花の数々を他の都道府県の方々に知ってほしいから。
- ・きれいだからです。
- ・関西圏の近在でも産地が少ないから。

### 【その他】

- ・他県にない特色があればどこにでも出せる。

## 質問 10. 普段、農産物や食品をどちらで購入していますか。(複数回答可)

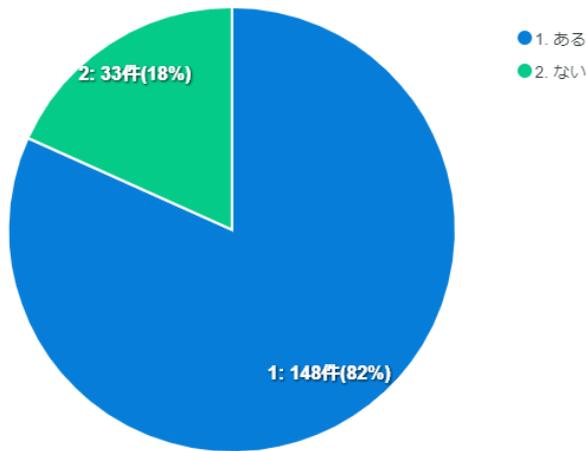


### ■ その他<一部抜粋>

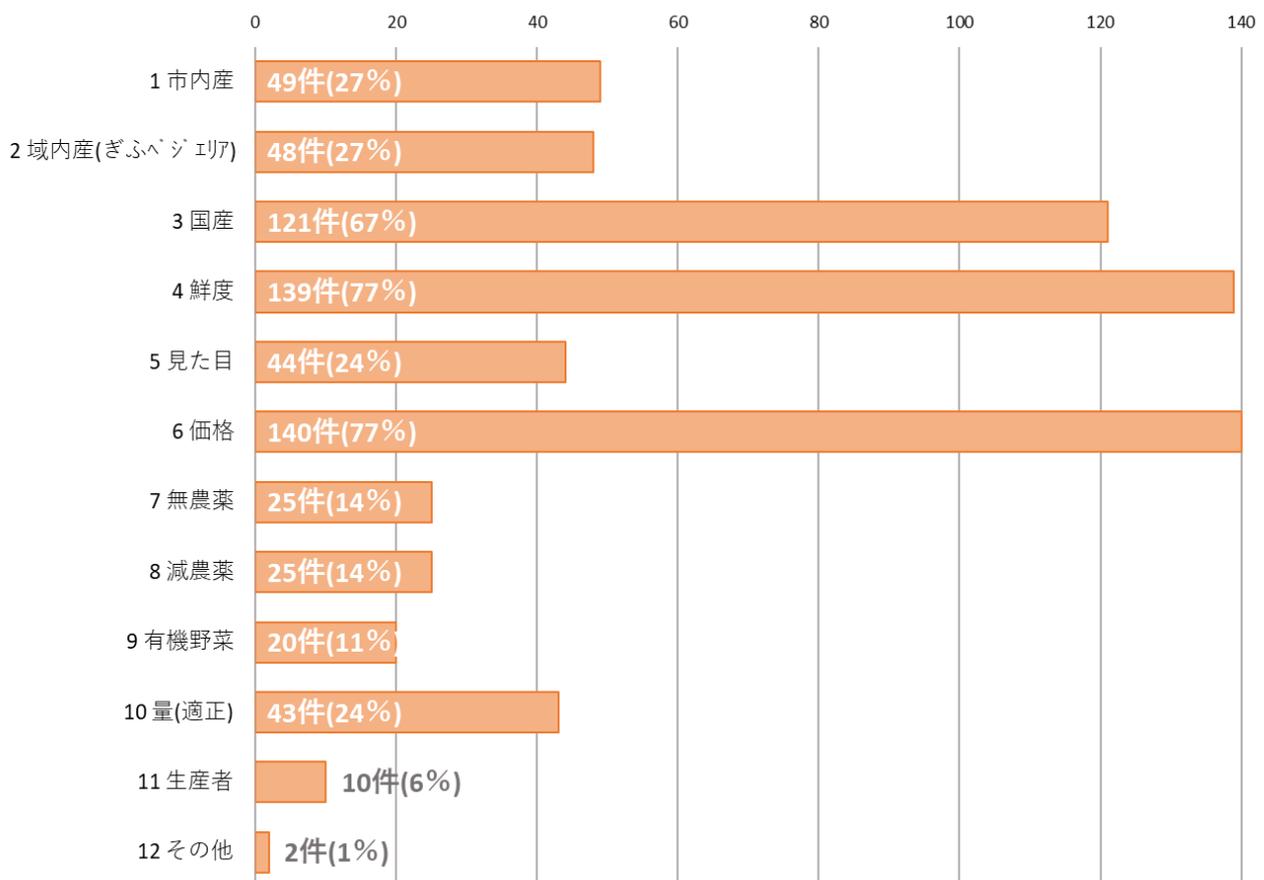
- ・ 木曽三川公園産直場
- ・ 自家農園
- ・ 家庭菜園をしている友人から頂く
- ・ 道の駅
- ・ 買わない

**質問 1 1. 「ぎふベジ」(岐阜市近郊の 2 3 品目の特産農産物※) を購入できる場所は近くにありますか。**

※いちご・えだまめ・柿・栗・こまつな・米・ささげ・だいこん・たまねぎ・唐辛子・トマト・梨・なす・にんにく・ねぎ・  
ぶどう・ブロッコリー・ほうれんそう・マンゴー・アスパラガス・レタス・ぎんなん・れんこん



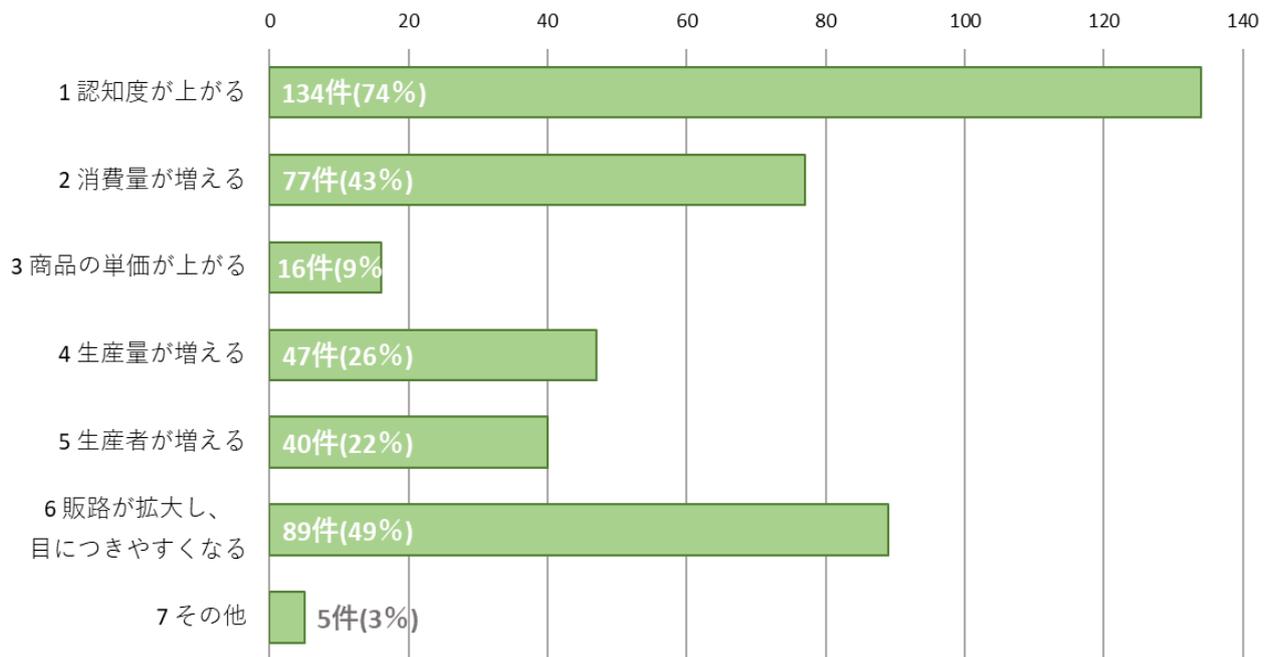
**質問 1 2. 農産物を購入する際に、重視していることは何ですか。(複数回答可)**



■ その他<一部抜粋>

- ・ 県内産
- ・ 買わない

質問13. 「ぎふベジ」のブランド化を進めるにあたって、何を重視すればいいと思いますか。(複数回答可)



■その他<一部抜粋>

- ・その生産物の具体的な情報の紹介（味や他との違い）
- ・競争力のある品種開発と知名度アップ活動
- ・ネットによる拡散

**質問 14. 「ぎふベジ」や「ぎふ〜ど」、地産地消に対する意見や要望など、ご自由にお書きください。**

<一部抜粋>

- ・「ぎふベジ」や「ぎふ〜ど」という取り組みを知らなかった。できるだけ岐阜県産を購入しようとしているが、スーパーでは置いていない事も多く、たまに、おんさい広場に行っても、あまり岐阜県産が無いので、なかなか手に入りにくい。もっとどこでも買えると良い
- ・レストランとかで気軽に食べられるとよい
- ・スーパーに置いてある地元生産者のコーナーももっと充実するといいなと思います。生産者の名前や写真がある店舗もあり、購入者も安心して買えます
- ・ぎふベジがブランドになり、全国で売れるようになれば素晴らしいと思います
- ・地域の子どもたちに対する教育活動の協力を行ってほしい。収穫体験、農家の方の話を聞く体験等、農業に関わる体験活動を行ってほしい。
- ・「ぎふベジ」「ぎふ〜ど」という言葉は聞いたことはありますが、市民、消費者にその名前や意味合いがまだまだ知られていないと感じます。また、地元産であることの PR だけでなく、それぞれにストーリーを絡ませて魅力を高める工夫も大切だと思います。
- ・地道かつ継続したメディア戦略展開が必要と感じました。その中で、岐阜市でしか栽培できない、特別な栽培方法で生産して、品質が向上している、他の品種と比べて〇〇などの特徴をアピールしたいところです。明確な特徴を作り出すことも戦略の一つですし、岐阜市 農林課の役割なのかもしれないですね。自信をもって他の地域の方に誇れる農産物があると嬉しいです。私自身、現時点ではえだまめと富有柿です。
- ・農業の生産者が減っている事が最近は気になります。米不足で、痛感しました。
- ・ぎふ〜どのお店は、店先にステッカーが貼ってあるので分かります。ぎふベジを探したが、野菜パッケージにシールが貼っていないので見つけれない。おんさい広場鷺山店で店員さんに聞いたが、ぎふベジがついてる野菜は最近は無いと言われました。(2024. 10 月頃) 小学生の子どもが社会の授業で、枝豆について学習していたので、岐阜の野菜をもっと色々と教えてあげたいです。
- ・他の商圈に売り出すのも大事だが、その土地で取れたものを食べる地産地消のほうが大切にしたい。学校給食などにも地産地消をとりいれてもらいたい。学校の有機給食化もぜひ進めてもらいたい。
- ・岐阜市内でのイベント時に、購入しやすいように随時出店して欲しいです
- ・商品にぎふベジである事がわかる目立つシールなど貼り付けて欲しいです。
- ・野菜や食材単体での PR のみでなく、レシピや料理と一緒に浸透させていくと、自分なら普段買わないものにも興味を持つてそうだと思います。

## 7 今後に向けて

### ぎふベジ・ぎふ〜どに関する意識調査（質問1～質問14）

今回の調査結果から、本市の農業振興を図っていく上で、ぎふベジのブランド化、販路拡大・開拓の取り組みが有効であり、平成27年から継続している「ぎふベジブランド発信事業」の取り組みをさらに充実させていくことが重要であると考えております。

本市近郊の5市3町（ぎふベジエリア）での連携やぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」事業との連携を図ることで、皆様に認知され、地域内で消費される地産地消の取り組みを推進するよう努めてまいります。

#### お問い合わせ先

経済部 農林課

TEL : 058-214-2079 / MAIL : nourin@city.gifu.gifu.jp